

令和 7 年度

学 生 募 集 案 内

海技士コース（三級）
海技士コース（四級）
海技士コース（五級）

～出願にあたっての注意事項～

海技免許講習（レーダー観測者、レーダー・自動衝突予防援助装置シミュレータ、救命、消火、航海英語及び機関英語講習）は実施いたしません。必要に応じて、他の講習機関で受講するようお願いいたします。



独立行政法人海技教育機構



海 技 大 学 校

目 次

I. 募集	1
1. 海技士コース（三級航海）（三級機関）	1
2. 海技士コース（四級航海）（四級機関）	3
3. 海技士コース（五級航海）（五級機関）	5
II. 出願方法	7
1. 出願時の提出書類の確認	7
2. 願書等提出先及び問い合わせ先	7
III. 給付金・助成金	8
IV. 授業料等の諸経費	11
V. 学校見学のご案内	12
VI. 個人情報の取り扱いについて	12
VII. 入学願書 記入例	13
1. 受講時に在職している場合	13
2. 受講時に離職している場合	14
VIII. 乗船履歴記入用紙 記入例	15

添付書類

入学願書（三級～五級用）
予備身体検査証明書
乗船履歴記入用紙
入学検定料の納付を証明する書類（振込依頼書等）
入学検定料貼付台紙
提出書類チェックリスト

裏表紙

海技大学校へのアクセス

I. 募集

1. 海技士コース（三級航海）（三級機関）

出願期間 令和7年9月1日(月)～令和7年10月9日(木)

※10月9日(木)書類必着

修業期間 令和7年11月5日(水)～令和8年3月13日(金)



海技士コース
(三級) HP

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。
三級航海：三級海技士(航海) 三級機関：三級海技士(機関)
- II. 卒業後の国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。
- III. 在学期間中に海技免許講習（上級航海英語・上級機関英語）を修了することが出来ます。

(1) 入学資格及び出願

①入学資格

- 海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている者で、四級海技士（航海）若しくは四級海技士（機関（内燃機関含む））免許を有し、卒業時において三級海技士（航海）若しくは三級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある者。

②出願

- 本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、「入学検定料貼付台紙」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。添付書類の提出書類チェックリストに記載されている書類を揃えて、7ページに記載されている出願方法により、出願してください。

三級海技士（航海）または三級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 舶		期 間	資 格	職 務
三級海技士 (航海)	・1600トン以上	沿海区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		船舶の運航
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・500トン以上	沿海区域	2年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	四級海技士(航海)	航海士 (一等航海士を除く)
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・200トン以上	沿海区域	1年以上	四級海技士(航海)	船長又は一等航海士
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・200トン以上	丙区域の漁船			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	近代化船		6月以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	船橋当直三級海技士 (航海)	運航士
三級海技士 (機関)	・3000kW以上	沿海区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		機関の運転
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・1500kW以上	沿海区域	2年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	四級海技士(機関)	機関士 (一等機関士を除く)
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・750kW以上	沿海区域	1年以上	四級海技士(機関)	機関長又は一等機関士
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・750kW以上	丙区域の漁船			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	近代化船		6月以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	機関当直三級海技士 (機関)	運航士

(注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。

ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。

乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。

- 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

(2) 入学試験

試験日 令和7年11月4日(火)

○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。

○筆記試験 専門学…船舶の運航（又は機関の運転）実務に関する試験

航海：航海、航海計器、運用、気象、航海法規

機関：内燃機関、ボイラ、プロペラ装置、補機、電気工学

○筆記試験の免除 下記に該当する場合は、願い出により筆記試験が免除されます。

（高等学校を卒業した者、本校通信教育科普通科A課程を卒業した者、海員学校の本科を昭和63年以降に卒業した者若しくはこれと同等以上の学力があると認められた者）

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和7年度入学	海技士コース（三級航海）（三級機関）
出願期間	令和7年9月1日(月)～令和7年10月9日(木)
入学試験日	令和7年11月4日(火)
合格発表	令和7年11月4日(火)
入寮可能日	令和7年11月4日(火)※入学試験の合格発表後 (年末年始は学生寮を閉鎖します。)
入学式（入学日）	令和7年11月5日(水)
修業期間	令和7年11月5日(水)～令和8年3月13日(金) 約4か月
卒業式（卒業日）	令和8年3月13日(金)

※土曜日に授業を実施する場合があります。土曜日に授業を行う場合は、入学後にご案内いたします。

(4) 授業料等の諸経費

金額は、11ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。

2. 海技士コース（四級航海）（四級機関）

出願期間 令和7年1月15日(水)～令和7年2月28日(金)

※2月28日(金)書類必着

修業期間 令和7年4月3日(木)～令和7年6月20日(金)



海技士コース
(四級) HP

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。
四級航海：四級海技士(航海) 四級機関：内燃機関四級海技士(機関)
- II. 卒業後の国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

(1) 入学資格及び出願

①入学資格

- 海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている者で、卒業時において四級海技士（航海）若しくは内燃機関四級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある者。

②出願

- 本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、「入学検定料貼付台紙」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。添付書類の提出書類チェックリストに記載されている書類を揃えて、7ページに記載されている出願方法により、出願してください。

四級海技士（航海）または内燃機関四級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 船		期 間	資 格	職 務
四級海技士 (航海)	・200トン以上	平水区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用		船舶の運航
	・20トン以上	沿海区域以上			
	・20トン以上	漁船	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用	五級海技士(航海)	船長又は航海士
四級海技士 (機関)	・750kW以上	平水区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用		機関の運転
	・20トン以上	沿海区域以上			
	・20トン以上	漁船	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用	五級海技士(機関)	機関長又は機関士

- (注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。
ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。
乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。
・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

(2) 入学試験

試験日 令和7年4月2日(水)

○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。

○筆記試験 専門学…五級海技士相当の試験

航海：航海、運用、法規

機関：機関(一)、機関(二)、機関(三)、執務一般

○筆記試験の免除 五級海技士免許受有者は、筆記試験が免除されます。

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和7年度入学	海技士コース（四級航海）（四級機関）
出願期間	令和7年1月15日(水)～令和7年2月28日(金)
入学試験日	令和7年4月2日(水)
合格発表	令和7年4月2日(水)
入寮可能日	令和7年4月2日(水)※入学試験の合格発表後 (GW中は学生寮を閉鎖します。)
入学式（入学日）	令和7年4月3日(木)
修業期間	令和7年4月3日(木)～令和7年6月20日(金) 約2.5か月
卒業式（卒業日）	令和7年6月20日(金)

※土曜日に授業を実施する場合があります。土曜日に授業を行う場合は、入学後にご案内いたします。

(4) 授業料等の諸経費

金額は、11ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。

3. 海技士コース（五級航海）（五級機関）

出願期間 令和7年1月15日(水)～令和7年2月28日(金)

※2月28日(金)書類必着

修業期間 令和7年4月3日(木)～令和7年6月20日(金)



海技士コース
(五級) HP

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。
五級航海：五級海技士(航海) 五級機関：内燃機関五級海技士(機関)
- II. 卒業後の国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

(1) 入学資格及び出願

①入学資格

- ・海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている者で、卒業時において五級海技士（航海）若しくは内燃機関五級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある者。

②出願

- ・本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、「入学検定料貼付台紙」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。添付書類の提出書類チェックリストに記載されている書類を揃えて、7ページに記載されている出願方法により、出願してください。

五級海技士（航海）または内燃機関五級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 舶	期 間	資 格	職 務
五級海技士 (航海)	10トン以上	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用		船舶の運航
	20トン以上	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用	六級海技士(航海)	船長又は航海士
五級海技士 (機関)	10トン以上	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用		機関の運航
	20トン以上	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ. 適用	六級海技士(機関)	機関長又は機関士

- (注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。
ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。
乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。
・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

(2) 入学試験

試験日 令和7年4月2日(水)

- 身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。
- 筆記試験 船員の仕事に関する基本的な知識の確認
- 筆記試験の免除 高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者は、願い出により筆記試験を免除することができます。

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和7年度入学	海技士コース（五級航海）（五級機関）
出願期間	令和7年1月15日(水)～令和7年2月28日(金)
入学試験日	令和7年4月2日(水)
合格発表	令和7年4月2日(水)
入寮可能日	令和7年4月2日(水)※入学試験の合格発表後 (GW中は学生寮を閉鎖します。)
入学式（入学日）	令和7年4月3日(木)
修業期間	令和7年4月3日(木)～令和7年6月20日(金) 約2.5か月
卒業式（卒業日）	令和7年6月20日(金)

※土曜日に授業を実施する場合があります。土曜日に授業を行う場合は、入学後にご案内いたします。

(4) 授業料等の諸経費

金額は、11ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。

II. 出願方法

1. 出願時の提出書類の確認

出願書類に不備があるものは受付できませんので、添付の提出書類チェックリストにて書類の確認をしてから出願してください。

乗船履歴が受験資格を満たしているか不明な場合は、事前に海技大学校教務課へお問い合わせください。

2. 願書等提出先及び問い合わせ先

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町 12 番 24 号
海技大学校 学務部 教務課 海技士コースあて
TEL (0797) - 38-6211
e-mail contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp
対応時間：平日 9:00～12:00 13:10～17:00



HP からの
お問い合わせは
こちらから

Ⅲ. 給付金・助成金

受給は、本人が入学料・授業料を負担し、卒業した場合のみとなります。

①教育訓練給付制度（厚生労働大臣指定講座（厚生労働省）
（<https://www.mhlw.go.jp/content/001155029.pdf>）

現在一般教育訓練講座の指定講座ですが、令和6年12月現在、専門実践教育訓練講座へ指定申請中です。指定の可否は、わかり次第、海技大学校 HP 等にてお知らせいたしますので、最寄りのハローワークにて各自手続きをお願いいたします。

専門実践教育訓練講座（<https://www.mhlw.go.jp/content/001310413.pdf>）

問合せ先：最寄りのハローワーク

専門実践教育訓練給付金の受給には、受講開始の 1 か月前までに訓練前キャリアコンサルティング等の事前手続きが必要です。

出願前に各自で受給資格を満たしているか確認し、入学前に各自で手続きしてください。



受給資格	次の①～③のいずれかに該当する方 ①雇用保険の被保険者である方（在職者）または被保険者であった方（離職者）のうち、被保険者資格を喪失した日以降、受講開始日までが1年以内（※妊娠、出産、育児、疾病等の理由により教育訓練給付の適用対象期間が延長された場合は最大 20 年以内）の方 ②受講開始日までの雇用保険の被保険者期間が3年以上（初回の場合は2年以上）ある方 ③前回の教育訓練給付金受給日から受講開始日前までに3年以上経過している方
給付額	・教育訓練経費の50%（上限年間40万円）を6か月ごとに支給 ・資格取得等し、訓練修了日の翌日から1年以内に雇用保険の被保険者として雇用された方または当該資格取得等が訓練修了日の翌日から1年以内であって雇用保険の被保険者として雇用されている方には、教育訓練経費の20%（上限年間16万円）を追加支給 ・訓練前後で賃金が5%以上上昇した方（※）には、教育訓練経費の10%（上限年間8万円）を追加支給 ※2024年10月1日以降に受講開始した方について適用
請求手続（本人）	本人の住所を管轄するハローワークへ申請 ①教育訓練給付金支給申請書 ②教育訓練修了証明書 ③各費用の領収書（入学料・授業料・教科書代等…（最大1年分）） ④雇用保険被保険者証等 （受講修了1月以内に支給申請）

（令和6年12月現在）

一般教育訓練講座（<https://www.mhlw.go.jp/content/001310416.pdf>）

問合せ先：最寄りのハローワーク

出願前に各自で受給資格を満たしているか確認し、卒業後に各自で申請してください。



受給資格	次の①又は②のいずれかに該当する方 ①一般教育訓練の受講を開始した日（受講開始日）において、被保険者のうち、支給要件期間が3年以上ある方。 ②受講開始日において被保険者でない方のうち、被保険者資格を喪失した日（離職日の翌日）以降、受講開始日までが1年以内（適用対象期間の延長が行われた場合には、最大 20 年以内）で、支給要件期間が3年以上（※）ある方 ※①又は②とも当分の間、初めて教育訓練給付金の支給を受けようとする方については、支給要件期間が1年以上あれば可。
給付額	教育訓練経費の20%に相当する額。限度額10万円。
請求手続（本人）	本人の住所を管轄するハローワークへ申請 ①教育訓練給付金支給申請書 ②教育訓練修了証明書 ③各費用の領収書（入学料・授業料・教科書代等…（最大1年分）） ④雇用保険被保険者証等 （受講修了1月以内に支給申請）

（令和6年12月現在）

②海技資格取得研修補助(全日本海員組合) (<https://www.jss01.jp/publics/index/49/>)

問合せ先：(一財)全日本海員福祉センターTEL03-3475-5390

出願前に、各自で申請していただく必要があります。



受給資格	全日本海員組合の組合員
給付額	入学検定料・受講料（入学科・教材費を含む。）の全額相当額。ただし、同一の海技士資格について2回目以上の受講である場合は、受講料の半額相当額の給付となります。
請求手続 （本人）	①海技大学校へ受講申し込みを行ってください。 ②(一財)全日本海員福祉センターへ受講前に事前申し込みとして「海技資格・技能講習受講申請書」を提出します。（申請書用紙は(一財)全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。） ③(一財)全日本海員福祉センターにて審査後、「海技資格取得研修受講決定通知」と「研修補助・交通費補助申請書」が送付されます。受講者は受講決定通知受領後、海技大学校で受講してください。 ④受講後、「研修補助・交通費補助申請書」を(一財)全日本海員福祉センターへ提出。提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書」と※「入学検定料の振込を証明できる書類（宛名は出願名）」を添付してください。

（令和6年12月現在）

③教育訓練給付補完給付(全日本海員組合) (<https://www.jss01.jp/publics/index/49/>)

問合せ先：(一財)全日本海員福祉センターTEL03-3475-5390

出願前に、各自で申請していただく必要があります。



受給資格	次の2つの要件を満たしていること。 ①全日本海員組合員の組合員（申請時において前回の受給から3年以上が経過していること） ②教育訓練給付金を受給済の方。
給付額	入学検定料・受講料（入学科・教材費を含む。）の3割相当額（限度額15万円）。
請求手続 （本人）	教育訓練給付金を受領後、所定の補助申請書に教育訓練給付金の支給証明書等を添付して(一財)全日本海員福祉センターへ申請。提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書」と※「入学検定料の振込を証明できる書類（宛名は出願名）」を添付してください。（補助申請書は(一財)全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。）

（令和6年12月現在）

〔注意事項〕

- ・①教育訓練給付金（厚生労働省）と、②海技資格取得研修補助（全日本海員組合）とは重複して受給することはできません。
- ・②海技資格取得研修補助（全日本海員組合）と③教育訓練給付補完給付（全日本海員組合）とは、重複して受給することはできません。
- ・②と③で記載をしている「入学検定料の振込を証明できる書類」は次のとおりです。
（令和7年度の入学より入学検定料は領収証書が発行されないことから、これらを従来の領収証書に変えることになります。）

- ・銀行窓口をご利用される場合…振込金領収書（原紙）
- ・ATMをご利用される場合… ※ 利用明細書（原紙）
- ・インターネットバンキングで振り込んだとき… ※ 印刷明細書を印刷したもの

※ATM又はインターネットバンキングをご利用される場合は、振込者名について、「ニューガクケン ティリョウ」を振込者名の前に記載していただいた上で、振込をお願いいたします。

例（ATM又はインターネットバンキングの場合）
振込者名：ニューガクケンティリョウ カイギタロウ

入学検定料の振込を証明できる書類は給付手続きで使用しますので、領収書等はなくさないよう大切に保管してください。（入学検定料の領収書は発行できません。）

〔参考〕 給付金・助成金の例（概算）

給付金・助成金	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
①教育訓練給付金	56,000	52,000	38,000	39,000	34,000	33,000
②海技資格取得研修補助	316,000 +往復交通費	295,000 +往復交通費	227,000 +往復交通費	229,000 +往復交通費	200,000 +往復交通費	198,000 +往復交通費
③教育訓練給付補完給付	94,000 +往復交通費	88,000 +往復交通費	68,000 +往復交通費	68,000 +往復交通費	60,000 +往復交通費	59,000 +往復交通費

〔注意事項〕

上記助成金額は、参考金額です。制度変更があった場合等、助成金額が変更されることがあります。

※「①教育訓練給付金」につきましては、2割相当の金額で計算しています。

※各制度の詳しい内容につきましては、①は最寄りのハローワーク、②・③は（一財）全日本海員福祉センター（Tel03-3475-5390）にお問い合わせください。

＜地方運輸局等から受講指示を受けられる方へ＞

入学時に船員失業保険受給中で地方運輸局等から「受講指示書」を受けた方は、失業保険金の他に移転費、技能習得手当等が支給されます。

受講指示を受けようとする失業保険受給中又は受給見込の方は、運輸局等（海のハローワーク）へ願書提出前に必ずご相談ください。

IV. 授業料等の諸経費

海技士コース受講に必要な諸経費は、概算で下記のとおりです。（単位：円）

※願書出願時には、別途「入学検定料」が必要です。

コース 費用	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
入学料	101,930	101,930	101,930	101,930	81,500	81,500
授業料	124,000	124,000	62,030	62,030	51,760	51,760
教科書代	56,900	36,000	30,000	32,000	38,000	32,000
学生費及び 自治会経費	4,740	4,740	4,140	4,140	4,140	4,140
合計	287,570	266,670	198,100	200,100	175,400	169,400

入寮時は次の費用も概算が必要です。（単位：円）

コース 費用	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
寄宿料	20,000	20,000	12,000	12,000	12,000	12,000
寮生費	90,000	90,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合計	110,000	110,000	72,000	72,000	72,000	72,000

※別途食費がかかります。

※上記諸経費は改定される場合があります。

※諸経費等については、入学後に請求書を発行いたします。

納期は、概ね3～4週間程度です。

※海技大学校では以下の2種類の請求書を発行しております。

- (1) 入学料・授業料・寄宿料については、海技教育機構の収入として計上されるため、海技教育機構理事長名義で、適格請求書を発行いたします。
- (2) 食費・寮生費・学生費・自治会経費・教材費など受講生等預り金に相当する経費に関しては、海技教育機構の収入として計上されないため、海技大学校長名義で、適格請求書発行事業者番号を記載しない請求書を発行いたします。

学生寮の寮部屋や設備は

ホームページよりご覧頂けます。



V. 学校見学のご案内

教室・図書室・実習施設等、当日可能な限りご見学いただけます。

見学日時や内容等をあらかじめ（見学希望日の2週間以上前に）ご連絡ください。

見学可能日：平日 9:00～12:00 13:10～17:00 見学時間：1 時間半前後

VI. 個人情報の取り扱いについて

本校がお問い合わせ等によって取得した個人情報は、お問い合わせ等に対する回答にのみ利用します。

本校が入試に関して取得した個人情報は、次の目的にのみ利用します。

- (1) 受験案内・受験票・試験結果・入学案内等の送付、入試書類記載内容の確認、入学予定者名簿の作成
など、入試・入学業務にかかる連絡通知
- (2) 広報のための統計的集計

VII. 入学願書 記入例

1. 受講時に在職している場合

海技大学校 入学願書 (三級～五級用)				受験番号	
貴大学校 海技士コース (三級航海) (三級機関) (四級航海) (四級機関) (五級航海) (五級機関)				☐ 志望コースを○で囲む	
令和 △ 年 △△ 月 △△ 日				☐ へ入学を希望します。	
独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿				☐ (志望コースを○で囲う)	
住民票どおり記入 ふりがなを 忘れずに 記入	氏名	かいだい たろう	性別	男・女	生年月日
住民票どおり記入 ふりがなと 郵便番号を 忘れずに 記入	ふりがな	〇〇けん〇〇〇し〇〇〇ちょう	本籍地	兵庫 都・道 府・県	生年月日 試験当日の 年齢を 記入
願書が届き次第、 教務課より 案内を 送付します	現住所	〒△△△-△△△△ 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△	電話	(△△△) △△△△ - △△△△	連絡先の 電話番号・ メールアドレス を記入
E-mail: abcdefg-hijklmn△△@gmail.com				入学試験	
受験票送付先: 現住所と同じ				入寮希望の有無	
入学試験: 三級又は五級入学試験筆記試験免除の願い出を				☐ する・しない	
最終学歴				☐ 卒業 (中退) 年月日	
普通教育 〇〇中学校				昭和 平成 卒業 中退	
船員教育 〇〇学校				昭和 平成 卒業 中退	
海技大学校 船員通信教育				課程及び学籍番号	
現職・離職 (受講時の状態を○で囲んでください)				受講指示 運輸局名等	
運輸局・支局 海事事務所・事務局				☐ 在職中のため記入しない	
現職者記入欄				会社名 〇〇株式会社	
会社住所				〒△△△-△△△△	
電話 (△△△) △△△-△△△△				職名 一等航海士	
離職者記入欄 (直前の) 会社名				電話 () -	
免状等種類				取得年月日	
海技免状① 四級海技士 (航海)				昭和 平成 取得年月日 第 △△△△△△△△△△△△ 号	
海技免状② 五級海技士 (機関)				昭和 平成 取得年月日 第 △△△△△△△△△△△△ 号	
小型船舶操縦免許証				一級小型船舶操縦士 昭和 平成 取得年月日 第 △△△△△△△△△△△△ 号	
無線従事者免許				第二級海上特殊無線技士 昭和 平成 取得年月日 第 △△△△△△△△△△△△ 号	
授業料等の支払い				☐ 会社私・個人私	
請求書の宛名				〇〇株式会社	
担当部署及び担当者名				〇〇部〇〇〇〇課 〇〇〇〇	
振込先等連絡先送付先				〒△△△-△△△△ 電話 () -	
〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△ 〇〇〇ビル△階				E-mail:	

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

2. 受講時に離職している場合

海技大学校 入 学 願 書 (三級～五級用)

受験番号

記入しない

住民票
どおり記入
ふりがなを
忘れずに
記入

住民票
どおり記入
ふりがなと
郵便番号を
忘れずに
記入

願書が
届き次第、
教務課より
案内を
送付します

三級・五級入
学試験で高等
学校卒業者は、
筆記試験の免
除を願い出るこ
とができます。卒業証明書又は
卒業証書の
コピーを添付し
てください。

卒業後、
海技免許を
取得できる
学校に在籍
した場合は
船員教育欄
へ記入

離職を
○で囲む

離職前の
会社名等を
こちらに記入

所有免状
及び免許を
すべて記入

個人払を
○で囲み
宛名を記載

個人払いの
場合は記入
不要

貴大学校 海技士コース (三級航海) (三級機関) (四級航海) (四級機関) (五級航海) (五級機関)

へ入学を希望します。

令和 △ 年 △△ 月 △△ 日

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿

(志望コースを○で囲う)

ふりがな かいだい たろう 性別 生 年 月 日
氏 名 海 大 太 郎 (男・女 昭和 平成 △△年△△月△△日(満△△才)

ふりがな ○○けん○○○し○○ちよう 本籍地
〒△△△-△△△△ 兵庫 都・道
現住所 ○○県○○○市○○○町△△-△△ 府・県

電話 (△△△) △△△△ - △△△△ 日中連絡先 携帯電話 (△△△) △△△△ - △△△△

E-mail abcdefg-hijklmn△△@gmail.com

受験票 〒 - 送付先 現住所と同じ

入学試験 三級又は五級入学試験筆記試験免除の願い出を 入寮希望の有無 *学生寮閉鎖期間(予定) G.Wおよび年末年始
する・しない 入寮する 通学する

最終学歴 学 校 名 卒業(中退)年月日
普通教育 ○○中学校 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 卒業 中退
船員教育 ○○学校 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 卒業 中退

海技大学校 船員通信教育 課程及び学籍番号 卒業(中退)年月日
昭和 平成 令和 年 月 日 卒業 中退

現 職 離 職 (受講時の状態を○で囲んでください) 受講指示 運輸局名等 ○○ 運輸局・支局 海事事務所 事務局

現職者 会社名 職名
記入欄 会社住所 電話 () -

離職者 (直前の) 会社名 電話 (△△△) △△△-△△△△

免 状 等 種 類	取 得 年 月 日	免 状 番 号
海技免状①	四 級海技士 (航海) 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
海技免状②	五 級海技士 (機関) 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
小型船舶操縦免許証	一 級小型船舶操縦士 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
無線従事者免許	第二級海上特殊無線技士 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号

授業料等の支払い 会社払 個人払 ※どちらかに必ず○をして、宛名の記載をしてください。

請求書の宛名 海大 太郎

担当部署及び担当者名

振込先等 連絡先 送付先 電話 () -

E-mail:

志望コースを
○で囲む

記載した
年月日を
記載する

生年月日
試験当日
の年齢を
記入

連絡先の
電話番号・
メールアドレス
を記入

入寮の有無を
記入

○で囲む

失業保険受
給者の場合
のみ、記入し
て下さい。
受講指示は
願書提出ま
でに受けて
下さい。
詳細は運輸
局にお問い
合わせ下さい。

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

VIII. 乗船履歴記入用紙 記入例

乗船履歴については、船員手帳その他を確認し、正確に記入してください。
もし、乗船履歴の不足が判明したときは、入学が取り消されます。

船舶の
用途・
名称を
記入

乗船履歴記入用紙 (船員手帳の有無 ☒ 有 ☐ 無)								
※最近の乗船履歴を一番上書き、日付順に過去15年以内の乗船履歴を記入してください。 乗船中の場合、下船又は終業の年月日は、記入日を記入してください。 ※5年前以内の乗船履歴が含まれていない場合は、事前にご連絡ください。 ※乗船履歴は、船員手帳等で確認し、正確に記入してください。 ※ <u>入学の際は、必ず雇い止めを行ってください。</u>								
船舶の用途 船舶の名称	総トン数	機関の種類 及び出力	航行区域 従業制限	船主氏名 又は名称	職名	乗船又は就業の 年月日	下船又は終業の 年月日	乗船又は就業の 期間
油送船 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	船長	2023年 3月 25日	2023年 10月 20日	年 6月 26日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2022年 10月 4日	2023年 2月 23日	年 4月 20日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	一等航海士	2022年 7月 13日	2022年 9月 7日	年 1月 26日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2021年 8月 20日	2021年 6月 15日	年 9月 27日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	一等航海士	2017年 11月 13日	2018年 7月 27日	年 8月 15日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2016年 8月 26日	2017年 11月 5日	年 2月 11日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	二等航海士	2015年 11月 6日	2016年 8月 19日	年 9月 14日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
合 計								4年 7月 19日

船員手帳の
有無を記入

航海に入学
希望の方は、
航海士、甲
板員等の履
歴を記入

機関に入学
希望の方は、
機関士、機
関員等の履
歴を記入

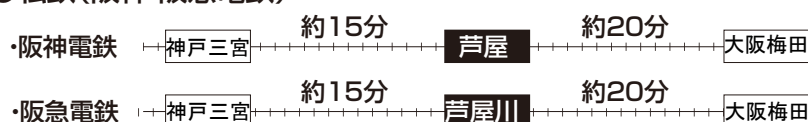
30日を1月として計算

アクセス

●JR



●私鉄(阪神・阪急電鉄)

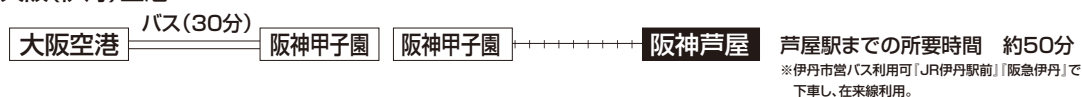


●空港

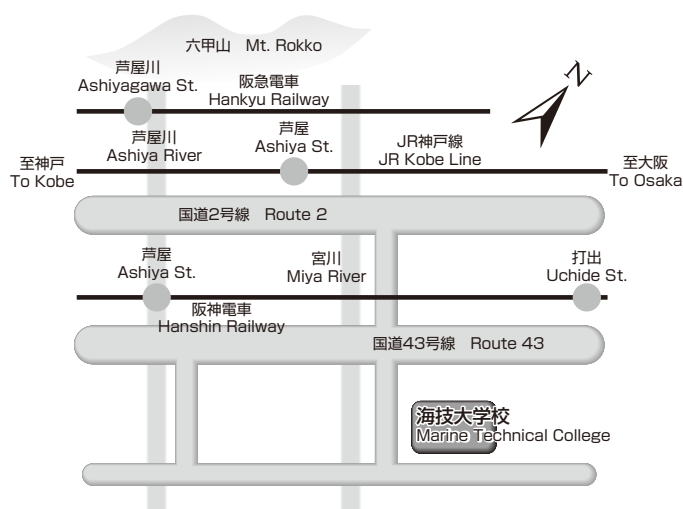
・関西空港



・大阪(伊丹)空港



・神戸空港



独立行政法人海技教育機構 海技大学校

〒659-0026 兵庫県芦屋市西藏町12番24号

TEL:0797-38-6211

HP: <https://www.jmets.ac.jp/kaidai/>



海大HP